

『初冬便り』

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

平成30年度の研修講座事業は、9月の地震と停電による影響で食育研修講座と社会科研修講座の2日目がやむなく中止となりましたが、残りの講座は予定通り、終了することができました。これもひとえに各学校、教育委員会、各関係者のご協力とご支援の賜と存じ、感謝申し上げます。

今年度は研修講座全体の受講者数が多くなりました。これは各市町村、また各研修講座での受講者が増えたことと、また、「学校と地域をつなぐ社会教育研修講座」や「国語科研修講座」、「社会科研修講座」のように教育局や各学校、そして各研究団体と共催で開催した講座が多くあったことによるものであります。

そのような中、課題もあげられます。センター所員が講師を務める「校内研修講座」や「学習指導（授業改善）研修講座」の受講者数が少ないことです。しっかりと検証をして、来年度に生かしていきたいと考えております。

別添で、平成30年度の研修講座別受講者一覧と市町村別受講者数一覧を載せておりますので、参考にして下さい。

さて、後志教育研修センター調査研究事業報告会を平成31年1月9日（水曜日）14時30分より、センターを会場にして開催致します。最終的には、研究内容は3月末の研究紀要として発刊されますが、今回はその中間報告となります。

学習指導研究委員会では、『授業力の向上と校内研究の活性化に関わる支援の在り方～対話的な学びのある授業づくりの促進を通して～』を研究主題に、また、社会教育研究委員会では『地方創生の時代における社会教育行政の在り方について～学びと活動の循環を促すための方策について～』を研究主題に掲げ、研究推進を行っております。

報告者は学習指導研究委員会の堤 洋平委員長、そして、社会教育研究委員会の土門啓二委員長の予定です。冬期休業中でもあり、また冬休み明けの業務に向けてスイッチを切り替える意味でも、たくさんの方々の参加を期待致します。後日、各学校にご案内を差し上げますので、申し込み下さい。

最後になりますが、研修講座を受講された方々には、「2ヶ月後アンケート」を配布致しましたが、今後の参考に使いたいと思いますので、お手数でもセンターまでFAXでお送り下さい。